第四八師団兵器勤務隊略歴

輿水忠治

年月日	概要
昭一五・一二・一三	軍令陸甲第六十九号に依り海南島海口に於て臨時編成
自一五・一二・一三 至一六・五・九	海南島警備
自一六・五・一〇 至一六・八・八	福州附近の警備
自一六・九・九 至一六・九・一六	福州撤退作戦
自一七・一・一 至一七・一・一三	台湾待機及次期作戦準備
自一七・一・一八 至一七・二・一七	「フイリツピン」攻略戦及「マニラ」附近の警備

0256

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

年月日	概要
自昭七 三 八	「ジャワ」島攻略戦及同島警備
至 二 二〇	
三 九	「ケダンガン」に於て自動装置の爆薬に由り兵一負傷
自 一三 一	「チモール」島防衛作戦
至 二〇 八 一四	
八 六 六	「チモール」島「クーパン」に於て爆雷に由り下士官二兵二戦死下士官一兵四負傷
七 二四	「クーパン」に於て爆雷に由り兵一戦死
二 一六	「ラウテン」に於て爆雷に由り下士官一戦死
九 一 四	「テナウ」に於て爆雷に由り兵一負傷
四 二九	「デリー」に於て爆雷に由り下士官一負傷

歴代部隊長名

陸軍中佐　清水蘇雄（戦病死）

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

年月日	概要
	陸軍少佐　興水忠治

0258

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第四十八征生隊部隊歴

年月日	概要
治五・二・七	広西省欽県蚊虫正港出発（南寧撤去作戦）
一九	海南島海口に上陸際正附近の警備
三・三	部隊編成完結
六・三	上旬、海口出発　福建省民江河口に上陸　福州附近の警備
九	下旬、福　出発（撤去作戦）
一三	海口上陸同地附近の警備
二・一七	海口出発台湾　高雄上陸
一九	高雄上陸同地にて作戦準備
三・六	高雄港発澎湖島へ同島にて待機
一三・六	澎湖島出発、比島へ
一〇	比島ルソン島北部ビガン上陸（比島攻略戦） 同地上陸作戦にて上等兵大西富蔵（後送後美通寺、陸病にて戦病死） 黒木末義（現地負傷にて治癒退院）負傷す

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

年月日	概要
昭一六一二一二	ビカン出発　進撃開始（マニラ攻略戦）
一七一一一三	マニラ入
一四	「サンフランシスコ」、「デルモンテ」（マニラ北東方九粁）附近警備並に作戦準備
二二	「サンフランシスコ」、「デルモンテ」出発、ダモルテス（リンガエン湾一へ
八	ダモルテス港出発　ホロ島へ（ミンダナオ島北西）
二五	ホロ島出発爪哇島へ
三一	爪哇島中部「クラガン」附近に上陸、スラバヤ攻略に向く
二一	東部ジャワ「マラン」に進駐、同地附近の警備
八二六	「マラン」出発「スラバヤ」港へ
九一	スラバヤ港出発　「モール」島へ
五	「モール」島（濠北）前領「デリー」市上陸、同地附近警備
一九二	「モール」島南岸「サメ」に移駐同地附近警備
二〇七一〇	「サメ」出発「デリー」へ

0260

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

年月日	概要
昭二〇 七 二六	「デリー」港出発「シンガポール」へ（第十号演習兵徴輸送にて）
七 三	ジャワ島「プロポリンゴ」港上陸「バタビヤ」へ（陸路）
二五	「バタビヤ」待機中終戦となる　以後同地附近警備
八 三	「バタビヤ」発「バンドン」へ同地附近警備
三一 一四	武装解除
	警備中行方不明（逃亡）一　上正生軍曹（生存しあるものの如し復員時迄は生死不明（戦死認定す）二　伴兵名甚永　川辺重利（状況より見るに戦死せるものの如し）
二〇 一一七	「バンドン」出発「タンションプリオーク」へ帰還迄進駐軍作業に従事　終頃より逐次復員開始作業間行方不明一（逃亡）王の井国正一等兵生存せるものの如し

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

年月日	概要
昭・三・三・九	「タンジョンプリオーク」出発内地へ
一九	宇品港上陸
二〇	復員完結す

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第四八師団第一野戦病院略歴

年月日	概要
昭一五一二三〇	軍令陸甲第五十七号に依り第四十八師団第一野戦病院臨時編成下令
自二三二八	編成完結（於海南島海口）
至一六五三	海南島警備
自一一	瓊華病院開設
至一五五	
自一一	臨高、文昌に患者療養所開設
至一五五	
二三	海南島秀英出発
六二	福州上陸
自六三	福州附近警備
至八七	

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

年月日	概要
自一六六三	連江に患者療養所開設
至八七	
自六三	福清に患者療養所開設
至八七	
自八八	福州撤退作戦
至九四	
一六九五	福州沖出発
一五	海南島秀英上陸
自一五	海南島警備
至二一五	
自一六	海南島海口市に病院開設
至二一五	
一六	海南島秀英出発
一九	高雄上陸集結

0264

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

年月日	概要
自昭一六二九	台湾待機　次期作戦準備
至一二七	
一二一四	高雄港出発
一二七	馬公出発
一〇	呂宋島「ゴンザーガ」上陸
自一二七	北部呂宋所定遠部隊戦斗に参加
至一二二	
自一二三	「マニラ」攻略戦に参加
至一七一八	
自一二三一〇	「アパリ」市に病院開設
至一七一五	
自一二八	「ビザン」市に患者療養所開設
至一七一三	
一二一八	高雄港出発
一二三	呂宋島「リンガエン」湾上陸

第一半部

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

年月日	概要
自昭一六一二一二	「マニラ」攻略戦に参加
至一七一一一八	
自一六一二一三	第二半部
至一六一二一八	「アゴー」に病院開設
自一六一二一四	「ポソルビオ」に病院開設
至一六一二一八	
自一七一一一九	瓜哇作戦準備
至一七一二一七	
一七一二一八	第宋衙「リンガエン」湾出発
一七一三一一	瓜哇島「クラガン」上陸
自一七一二一八	瓜哇攻略作戦に参加
至一七一三一九	
自一七一三一八	「ケダンガン」に病院開設　第一半部
至一七一三一九	

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

年月日	概要
自昭一七三六 至七七	「ケルトフソレ」に病院開設
自七一 至二一	「モジヨケルトレ」に病院開設
自九一 至二一	「ケダンガンレ」に病院開設
自一〇	爪哇戡定及警備
至八三三	
自三一三 至八三〇	「マニラレ」市に病院開設
自三一五 至四三三	「ボンドオソレ」に患者療養所開設
自五一〇 至八三五	「ソソゴリチーレ」に患者療養所開設

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

年月日	概要	
昭一七、九、一七	爪哇島「スラバヤ」出発	第一半部
三、三	「チモール」島「クーパン」上陸	
自 八、三〇	「チモール」島警備及撤収	
至 二、八		
自 三、三	「クーパン」市に病院開設	
至 八、六、三〇		
自 一七、八、三〇	爪哇撤収及警備	第二半部
至 二、八		
自 九、一	「コペン」に患者療養所開設	
至 三、三		
一、三	爪哇島スラバヤ出発	
五、	「チモール」島「クーパン」上陸	
自 二、九	濠州北方地区に於ける作戦準備並防衛	
至 八、二、三〇		

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

年月日	概要
自昭一三一五	「ソエル」に患者療養所開設
至一八六三〇	
自四	「デリー」市に病院開設　オ二半部
至二〇九二	
自一八一一	「ソエル」に病院開設　オ一半部
至二〇八三七	
一七二二	「ヂモール」島「クーパン」出発
四	「アンボイナ」島「アンボン」着
五	同地発
六	「タニンバル」諸島「ヤムデナ」島「サムラキ」着上陸
自八	
至一八二三〇	「サムラキ」に患者療養所開設
自一二一	同諸島「ヤムデナ」島
至一九七三五	

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

年月日	概要
自昭一九七一六	第五師団第二野戦病院業務援助
至一〇一三〇	
自二〇二一	「ヤムデナ」島「トングル」に患者療養所開設
至一〇六一〇	
一〇六一〇	第五師団第四野戦病院へ転属
自八一二一	漢北地区防衛作戦
至一九一三一	
自八一〇	「オインラシ」に患者療養所開設
至九一〇	
自二〇一三一	「クーパン」に患者療養所開設
至八一六	
自二〇一四一	「ボアス」に患者療養所開設
至七一三一	
自一八	「ラリアン」に患者療養所開設
至一七	

0270

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

年月日	概要
自昭二〇一一一	帝北地区防衛ガ一号作戦
至三五	
自二〇	輝ガ三号作戦
至六二〇	
自三	勢ガ三号作戦
至八一四	

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

才四八師団才四野戦病院略歴

病院長　原田純隆

年月日	概要
昭一五一二	南支海南島に於て編成完結　爾来同島警備
一六四	南支福州に転進　爾来同州反毒作戦及警備
九	台湾に転進
一二	比島に転進　爾来マニラ攻略作戦
一七三	仏印島に転進　同島攻略戡定作戦及警備
二	一部スンバ島に転進
三	チモール島に転進　爾来濠北地区に作戦準備及防衛
二〇八一四	特戦大詔渙発
二一	スンバワ島ロボック集結完了
	歴代部隊長
	陸軍少佐　原田純隆

0272

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

十八

迫害第五大隊部隊略歴

年月日	概要
昭一三七二七	動員下令
八五	編成完結
九	宇品港出帆
一三	大連港上陸
二三	山海関通過
九四	永定河々畔の戦斗
自一五	拒馬河々畔の戦斗
至一六	
自一七	涿州附近の戦斗
至二〇	
自二二	保定攻略作戦
至二三	

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

年月日	概要
自昭一三九三三	保定附近の警備
至一六	
自一七	滹沱河淡河作戦
至一〇二	
自一〇三	石家莊攻略作戦
至五	
自一三一〇中旬	太原攻略戦
至一三一〇	
自一三	順德攻略戦
至一三	
自一四	磁県攻略戦
至一六	
自一七	彰德攻略戦
至二〇	

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

年月日	概要
自昭二一・一〇・三	磁県附近の警備
至一二・一〇	
自一二・一	大名攻略戦
至一二・一三	
自一二・一四	磁県附近の討戎警備
至一二・二七	
自八	彰德禁衛
至一〇	
自二	西商村、湯陰、汝県、新郷附近の戦斗
至一六	
自一七	潞安攻略戦
至二三	
自二四	澤州攻略戦
至二六	

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

年月日	概要
自一三二七 至三五	沁河・陽城・沁水県附近の戦斗
自八 至一九	垣曲・曲沃附近の戦斗及警備
自二〇 至一六四	澤州附近の討伐及警備
自一七 至二四	新鄉附近
自二五 至五一二	黄河渡河牽制作戦
自一三 至一三	黄河渡河作戦
自一四 至一六	龍海線遮断作戦

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

年月日	概要
自昭一三・五・七 至一三・一一	蘭封陣地突破作戦
自一三・一一・六 至一三・一一・九	三義砦附近の戦斗
自一三・一一・七 至一三・一一・九	開封城攻略戦
自一三・一一・一〇 至一三・一一・一〇	中牟攻略戦並同地警備
自一三・一一・一三 至一三・一二・七	第二十師団転属行動
自一三・一二・八 至一三・一二・九	臨汾附近の戦斗及警備
自一三・一二・一〇 至一三・一二・一〇	垣曲、済源附近の戦斗
自一三・一二・一〇 至一三・一二・一〇	晋東作戦

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

十九、内

年月日	概要
自昭三一〇一七 至二一三	武漢攻略作戦
自二一下旬 至二一三	南封附近の戦斗並警備
自一三 至四一〇	南昌攻戦作戦
自二一 至五一五	武寧附近の警備
自五上旬 至五中旬	壌東会戦参加行動
自五下旬 至六下旬	壌東会戦
自七上旬 至九一五	潞安平地蘭清戦
自一六 至五一一〇	長子に向う前進並同地警備

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

年月日	概要
自昭一五一二	高平作戦
至一四三	
自一五二五	長子附近の警備
至一四二	
自一五一五	岡村鎮警備
至一四一七	
自一八一八	春季晋南作戦
至一五八	
自一九一九	晋南反共澤州西南地区域に於ける戦斗
至一四一六	
自一五一五	晋南反共作戦
至一〇一〇	
自一五一一	才一期澤州南小地区警備
至一〇三一	
一八一五	独立第五大隊編成改正

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

年月日	概要
自昭一五・八・三 至一五・九・八	晉中作戦
自一五・一・三 至一五・一・三〇	滏晉反轉作戦
自一五・一・三・二 至一五・一・九	南境掃蕩作戦
自一五・二・一 至一五・六・一九	第二期澤州南小地区及中小地区警備
自一五・六・二 至一五・六・三	陵川作戦
自一五・六・一九 至一五・六・二	陵川西側地区掃滅作戦
自一五・八・一 至一五・一〇・三〇	中原会戦参加行動
自一五・一・五 至一五・六・一五	中原会戦

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

年月日	概要
自昭六・六・二〇 至一〇	沃州警備及決
自七・二七 至九・五	長沙作戦参加行動（一部3/4M）
自六 至一〇・四	長沙作戦（一部3/4M）
自二・二 至一・二七	高平並青島附近の警備
七・一・二八	南方転進の為青島港出帆
二・二三	泰国シンゴラ上陸
自一・二八 至二・八	新嘉坡攻略作戦並昭南島粛正工作
自九 至一九	スマトラ島作戦
自二〇 至九・二一	スマトラ島及馬来半島に於ける工作並警備

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

年月日	概要
昭一七六一〇	転進の為昭南港出帆
三	スマトラ衙ベラワン港上陸
自九三	スマトラ衙警備
至一二七	
七	転進の為スマトラ衙ベラワン港出帆
自七一	才四十八師団転属行動
至一三四	
四	コチモールし島ゥライバイし上陸
自五	濠州北方地区に於ける作戦準備並防衛
至六二一〇	
自一三一	濠北地区防衛作戦
至一九三二	
自一一〇	濠州地区防衛才一号作戦並輝才三号作戦
至六二〇	
自三	勢才三号作戦
至八一四	

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

年月日	概要
昭二〇・八・四	停戦大詔渙発
一七	「チモール」島「ビステ」出帆
九・六	「フロレス」島「ララントガ」上陸
二七	「フロレス」島「ケテンデ」出帆
元	「スンバワ」島「ラブアン」上陸
一一	「スンバワ」島「ロポック」集結完了

0283

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

才四八師団野戦機関砲

才四六中隊部隊略歴

中隊長　中村　秀

年月日	概要
昭八三一二	動員下令
一五	編成完結
一六	征戍地出発
一八	宇品港出発
八	才二方面軍の隷下に入る
二〇	マニラ上陸
元一三	才七飛行師団の指揮下に入る
二〇	マニラ出港
二五	アンボン上陸
一七	アンボン出発

0284

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

年月日	概要
昭一九・二・一〇	チモール島ラウテン上陸
二・一〇	第四航空地区の指揮下に入る
自二・一〇	ラウテン東飛行場の防空警備
至八・一四	
九・六・二四	ラウテン東飛行場の戦斗に於て戦死
	下士官一　兵三　負傷四
歴代部隊長	陸軍中尉　中村　秀

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

野戦機関砲第四〇中隊略歴

中隊長　伊藤芳郎

年月日	概要
昭一八一〇	動員下令
自一一一元一	小スンダ列島上陸
至二二	フロレス島に於ける要地防空並警備
自二	
至二〇一	スンバラ島に於ける要地防空並警備
自二〇二	
至二〇八	ロンボック島に於ける要地防空並警備
二〇八一四	終戦
	ロンボック島に於て連合軍命令に依り労務に従事
二一四	ジャワ島　バタビヤ着

0286

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

年月日	概要
	バタビヤに於て連合軍命令に依る労務に従事 歴代部隊長名　陸軍大尉　伊藤芳郎

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

戦車第四連隊部隊略歷

（海第五〇五八部隊）

年月日	概要
	大東亜戦争関係以前省略
昭六七三八二〇〇	臨時編成下令駐屯地満州国東安省虎林県虎林に於て編成に着手 編成完結 関東軍命令に依り同地より前進
七二〇	錦州省錦県壺蘆島港出発
二三	台湾高雄州高雄港寄港待機
一二八	大東亜戦争参加のため同港出発
三	「フイリッピン」群島「ルソン」島「ダモルテイス」上陸引続き「マニラ」攻略戦に参加
一二一〇	「マニラ」入城　次期作戦準備
自一六三〇	南戦死将校二下士官四　兵一　戦病死下士官一
至一七一二	

0288

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

年月日	概要
昭一二・六	「ジャワ」作戦参加のため「タモルテイス」港出発
	同作戦間将校以下九六名（連隊第一中隊）第二師団に配属
三・一	東部「ジャワ」「クラガン」附近に上陸
八	「スラバヤ」入城、同地附近の警備
自二・二	間、戦死将校一、下士官三　戦病死将校一
至一〇・二〇	
八・一	准士官　下士官二四名　在満機甲軍に転属
一二・二	（月日推定）連隊主力「チモール」島に前進、次期作戦準備並防衛
	逐次集結
一八・四・二	（日・推定）特設自動車第七中隊編成要員として将校以下三四名転属
二〇・八・五	作戦任務を解除さる、引続き同地に於て終戦業務に従事
自一七・三・二	間、戦死将校三　下士官五　兵五　戦死確認　将校一　下士官三
至二〇・八・五	兵二　戦病死将校三　下士官三　兵六　不慮死　下士官一　兵一
二一・四・六	「チモール」島「ターパン」出帆
九	「スンバワ」島師団集結地に到着

0289

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

年月日	概要
昭二 五 九	復員のため「バダス」港出帆
三 三	名古屋港飯着
三 五	復員完結
	歴代部隊長名
	陸軍大佐 渋谷満秋
	〃 少将 村井利雄
	〃 玉田美郎
	〃 中佐 高沢英輝
	〃 大佐 熊谷直治
	〃 戒田達一

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第四八師団独立野戦高射砲第四八中隊部隊略歴

中隊長　西田一正

年月日	概要
昭一八・三	内地より出動　爾後「フローレス」島「マルメラ」附近防空警備
自一九・二・一〇	「フローレス」島「マルメラ」附近防空警備中に於て下士官一、兵一、戦病死せり
至二〇・八・一四	

歴代部隊長名

陸軍中尉　西田一正

0291.

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

才四八師団独立野戦高射砲

才四九中隊部隊歴

中隊長　玉利隼雄

年月日	概要
昭一八三	編成下令　編成完結
一九二	「バンダ」海「アンボン」に転進
自二四	「アンボン」に附近の防空に従事中　将校一、兵一、戦病死　兵五
至四一	入院せるも其の後不明
一九四	「テモール」島に転進
自一九四三	「テモール」島警備中兵四戦病死、兵一入院後送となり其の後不明
至二〇八一四	
自二〇八二六	毎　演習参加中兵二戦病死
至二七	

0292

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

年月日	概要
自昭二〇・二・六 至 三・三・三	南「スンバワ」島「ロポック」に於て終戦業務に従事中　下士一 兵一　戦病死
	歴代中隊長 陸軍中尉　佐藤郁三 〃　大尉　玉利軍雄

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

野戦高射砲第七十二大隊略歴

年月日	概要
昭一八二六	高射砲第二十四連隊に於て編成に着手（軍令不明）
三〇	高射砲第二十四連隊に於て編成完結
三一八	宇品港出帆豫北に向う
一九	門司に寄港
二五	高雄に寄港
三〇	マニラ上陸、同時第二方面軍司令官の隷下に入る
九二二	アンボンに寄港、同時第十九軍司令官の指揮下に入る
一五	スラバヤに上陸同時第四十六師団長の指揮下に入る
四二五	本部及第一、第三中隊はスンバ島に分進第二中隊はビルマ港湾及同地附近の防空に従事
七三三	
五一	本部及第一、第三中隊はワインガプに上陸しワイケロ飛行場群及ワイケロ港湾施設の防空に従事

0294

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

年月日	概要
昭二〇一二五	本部及オ三中隊はスンバワ島に転進、オ二中隊と合流同島の防空を強化
二五	オ四十六師団スンバヤ島を転進するに方り、歩兵一中隊の配属を受け同島防衛の業務を継承同時オ四十八師団長の指揮下に入る
四六～七	オ四十八師団台湾歩兵オ一連隊スンバワ島防衛の為、チモール島より前進す、此時前記部隊の船団直接掩護に参加せる戦斗飛行隊及同飛行場諸の施設の防空に任じありしオ三中隊は七日早朝、B24二十三機編隊の来襲を受け応戦中直撃弾に依り、兵四名戦死　下士官一、兵三戦傷す
七七～三	昭南転進の命に依り大隊は、先ずジャカルタに集結すべく、分進の処置を為し大隊長は所要ある機関を従へ、ジャカルタに先行す
三五	本部及オ二、オ三中隊の一部は輸送船大隊長は飛行機により、昭南に前進

0295

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

年月日	概要
昭一〇・八・一	昭南に上陸、同時第七方面軍司令官の指揮下に入り、同時昭南防衛司令官及昭南防空隊長の指揮下に入る
二	昭南要地の防空に任じつつ、ジャカルタ集結部隊の未着を待ちありしも
一四	遂に終戦となり、集結部隊は第十六軍司令官の指揮下に入り、爾後の状況不明
九・一八～三・一	ジュマランに移駐
一〇・一	昭南防衛司令部より少尉一名転入
一〇・一八～二・三五	連合軍の指示により　作業隊を編成　メルシン地区の作業に従事
三・七	レンバン島移駐・準備の為センプロンに移駐
三・一四～一六	クルアン検査所及シンガポールを経て、レンバン島に移駐

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

年月日	概要
自昭二〇・二・一八 至二・三・六	千島港に於て軍倉庫の建築作業に従事
自 同 至二・七・六	（推定）最後の駐留地南千武村に移駐現地生活
四・一八	（推定）在ガラム島本部附俘中尉以下三〇名、本隊復帰
七・八	（推定）復員の為レンバン島宝港出帆
八	（推定）名古屋に於て復員完結

歴代部隊長

陸軍少佐　河村鉄三郎

部隊等情報通者

陸軍中尉　大田直吉

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

年月日	概要
	[redacted]
	陸軍准尉　三上儀兵衛
	[redacted]
	陸軍中尉　吉年晃
	[redacted]
	陸軍軍曹　熊谷東吾

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

特設自動車第二十六中隊部隊略歷

年月日	概要
昭一八九四	小「スンダ」列島「テモール」島に於て軍令陸甲第三十一号廉隅第三百二十一号編成下令
元	特設自動車第二十六中隊編成完結
自一八九元	「テモール」島に於て濠州北方地区に於ける作戦準備並防衛
至元四八	
自九	「スンバワ」島に於て濠北方地区防衛作戦
至一三二	
自一一	「バリー」島に於て濠北方地区防衛第一号作戦
至元三	
自一〇	「バリー」島に於て輝第三号作戦
至一〇六	
自一二六	「スンバワ」島に於て勇第三号作戦
至一三八	

0299

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

年月日	概要
昭二〇・八・一四	「小スダント」列島「スンバワ」島に於て停戦大詔渙発
自 一六	「スンバワ」島「ロボツクト」に於て大東亜戦役終戦業務中、九月二
至 二・三〇	十一日戦局の急変に依り、兵二名党与逃亡其の後行方不明なり、同
	終戦業務中十一月二十二日戦局の急変に依り兵四名党与逃亡の上、
	「ロンボツクト」島に渡航逃亡せり、内二名は其の後日着一名は逮
	捕す、残る一名は行方不明なり
	歴代部隊長
	陸軍大尉　林　隆

0300

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

特設自動車第二十七中隊部隊略歷

年月日	概要
昭八九四	軍令陸甲第三十一号に依り臨時編成下令
九	編成完結
自 九	「チモール」に於て濠州北方地区に於ける作戦準備並防衛
至 二〇	
自 一二一	「チモール」島に於て濠北地区防衛作戦
至 九三九	
自 一四	爪哇島「スラバヤ」に於て兵補及自動車受領並自動車教育
至 七	
自 五六	「スンバ」島に於て濠北地区防衛作戦
至 一三二	
自 二〇一一	「スンバ」島に於て濠北地区防衛第一号作戦
至 二二	
自 三	「スンバワ」島に於て濠北地区防衛第一号作戦
至 三九	

0301

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

年月日	概要
自昭二〇・三・二〇	「スンバワ」島に於て輝オ三号作戦
至 六・二〇	
自 三・二	「スンバワ」島に於て勢オ三号作戦
至 八・一四	停戦大詔渙発
	歴代部隊長
	陸軍中尉 石井徳三郎
	〃 富敦正
	〃 久野隆

0302

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第四八師団特設陸上勤務第十一中隊略歴

中隊長代理　大橋芳松

年月日	概要
昭八四一五	軍令陸甲第十六号に依り瓜哇島「バンドン」に於て編成完結
自 一〇 一九	南方総軍隷下
至 八 一九	瓜哇島「バンドン」に於て兵補教育
一〇	「バンドン」出発
自 九 一	「スラバヤ」州「グリッセ」着
至 三 一九	「グリッセ」及「スラバヤ」に於て飛行場並貯油槽設定業務
一〇	専進の為「スラバヤ」港出発
一一	坪集団の隷下に入る
一四	チモール島「テナウ」に上陸

0303

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

年月日	概要
自 一五	「クーパン」附近に於て濠北地区防衛作戦に従事
至 一〇 三	
一〇 三	「クーパン」出発
一〇 六	「アタンブア」州「カクン」着
自 一〇 三	「カクン」及「アタンブア」に於て防衛並作戦準備に従事
至 一〇 八	
自 一一 五	「アタンブア」に於て大東亜戦役終戦業務に従事
至 一一 六	
一一 九	テモール島「ゴリエタ」出発
一一 八	フロレス島「マウメレ」着
自 一一 九	「マウメレ」に於て大東亜戦役終戦業務に従事
至 一二 三	
	「マウメレ」港出発
	スンバワ島「バタスル」に上陸
	スンバワ島「ロポックレ」に集結完了

0304

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

年月日	概要
自 二〇 三 一 至 二	スンバワ島「ロポック」に於て大東亜戦役終戦業務に従事 歴代部隊長 陸軍大尉　森　菊次郎

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp